




CHOP/THPCOP療法+ノイトロジン を受けられる患者さんへ

患者ID
氏名担当医
担当看護師

配付日

	入院:1病日	2病日	3病日	4~5病日	6~7病日	8病日	9~14病日	15~16病日	17~18病日:退院	【退院後の生活について】
化学療法 達成目標	化学療法1日前 ・治療について理解できる	化学療法 ・嘔吐がない ・便秘がない								・入院生活で下肢筋力が低下している可能性があるので、歩行時はゆっくり動き、転倒に注意してください ・治療後3週目以降より、めまいやふらつきなどの貧血症状が出現することがあります。体力も低下していますので、無理せず、ゆっくりとした生活を心掛けてください 以下の症状がある時はご連絡ください ・37.5度以上の発熱 ・風邪症状 ・食事や水分が摂れない ・息苦しい 【緊急連絡先】 ・平日時間内(8:30~17:00) 内科外来 :0985-85-9883 ・土日・祝日、時間外 5階東病棟 :0985-85-1789
内服	・薬剤師が、持参薬および服薬状況について確認します	・有害事象について理解できる	・プレドニゾロンを内服します(朝食後)(4日間)	・38.0度以上の発熱がない ・心窩部に不快感がない ・息苦しさがない	・抗菌薬を内服します(起床時)(7日間)					
注射		・点滴をします		・点滴を抜きます(6病日目)			・白血球を増やす薬を皮下注射します(8日間)			
検査	・体重測定(毎日) ・排尿毎に尿量を測ってください(毎日)	 	・血糖測定を1日3回、毎食前に行います							
処置		・血糖値によって、インスリン注射を打つことがあります								
食事	・制限はありません 									
活動・安静	・制限はありません									
清潔	・シャワー浴ができます									
説明	・入院オリエンテーションを行います ・医師が治療の説明をします ・薬剤師が、資料を用いて治療(薬剤)の説明をします ・本用紙を用いて、治療スケジュールについて説明します ・転倒・転落予防について説明します							・退院後の生活について説明します		
その他	・同意書は職員にお渡しください	・点滴の薬剤が血管の外に漏れると、その部位の皮膚に炎症が起こることがあります。点滴が入っているところに痛みや発赤、腫れがある場合は、ナースコールでお知らせください 	・治療から2日間は、尿や便に抗がん薬が含まれます。飛散により、他の方々のお身体にも影響を及ぼす可能性もあるため、男性は座って排尿してください。排泄後は、水を2回流してください				・今後、外来でがん薬物療法を受けられる患者さんは、外来化学療法室の見学が可能ですので、看護師にお声掛けください			
		有害事象とは、治療で生じる以下のような症状です 症状がある時は、ナースコールでお知らせください ・発熱 ・嘔気、嘔吐、食欲不振 ・便秘、下痢 ・脱毛 ・口内炎 など								



診療計画、入院期間は現時点での予定です。今後、状態の変化によって変更されることがあります。不明な点がありましたらいつでもお尋ねください。